



# 豊玉二中だより

令和元年度 第6号  
発行日 10月16日(水)  
練馬区立豊玉第二中学校  
校長 神山 信次郎

## 備えあれば憂いなし

校長 神山 信次郎

台風19号は各地に大変な被害をおよぼしました。何日も前から大型台風の情報が報道され、注意喚起の呼びかけがあり、皆それぞれが自分のできることに想像力を働かせ、様々手を尽くして備えたものの、自然の脅威は恐ろしいもので大変な被害となってしまいました。それでも人は次に同じことが起こらないように、知恵と経験をもとにしっかり考え準備します。

自らの生活において、今やらなければならないことにしっかり目を向け準備することが大切であると痛感しました。

私たちの学校生活についても全く同じことが言えるのではないのでしょうか。先日終わった三年生の修学旅行は準備に時間をかけたおかげで、実に立派で充実したものとなりました。しかし、いつまでも思い出に浸ってはいけません。今こそ次への節目、切り替えの時期です。三年生は進路決定という最大の目標へ向けて準備を怠らないようにしましょう。一、二年生もこれから合唱コンクールが待っています。部活動での活躍の場も広がるでしょう。学習も難しくなってきます。今できること、今準備できることをきちんとやりましょう。備えると言うことは、目標を見据えると言うことです。目標達成のために、努力できた人には自信がつき、迷いがなくなります。何をすべきか、想像力を働かせ、目標達成まで、諦めず、頑張りましょう。

準備を怠らないと言えば、ラクビーワールドカップの日本代表です。その活躍は本当に素晴らしいですね。準備を怠らず、最後まで妥協せず諦めない、自信を持って試合に臨む姿勢は感動を与えました。そして、彼らは結果も残している。備えることの大切さを私たちも忘れないようにしましょう。そして準備をして学習、進路、行事、部活動に臨みましょう。

